

CTI PFAN アジア・クリーンエネルギー・  
ファイナンス・フォーラム (AFCEF-4)  
ビジネスプラン・コンペティション



応募締め切り  
2013年9月9日

- 1 はじめに
- 2 コンペティション・ガイドライン
- 3 選考基準
- 4 スケジュール
- 5 アドバイザー
- 6 審査員
- 7 表彰
- 8 よくある質問
- 9 関係実施機関
- 10 Application Form 参加申請書

## スポンサー及び実施関係機関

スポンサー:



協力機関・イベントパートナー:



## 1. はじめに

「世界は、気温上昇を2度以下に抑えるという長期的な目標達成に必要なエネルギーシステムの低炭素化が実現できていない。エネルギーを節約し二酸化炭素排出量を減少し得る大半の技術分野において、その進行は驚くほど遅い。それでも、私たちが学ぶことのできる成功例はある」

2013年4月

国際エネルギー機関(IEA)

事務局長 Maria van der Hoeven

**我**々と同様に、環境保全に熱意を抱く方々が多数いることでしょう。将来の環境問題を方向付けることができる聡明で革新的な構想を持ち、それを前進させ具現化するのはあなたかもしれません。

CTI(気候変動防止技術イニシアティブ)と傘下のCTI PFAN(民間資金調達支援ネットワーク)、およびUSAID(米国国際開発局)、ICETT(公益財団法人 国際環境技術移転センター)が推進するCTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム(AFCEF-4)ビジネスプラン・コンペティションは、有益な環境提案を行う起業家、新興/既存企業、プロジェクトチーム並びにコンソーシアムなどを育成し、彼らを投資家と結び付け事業の実現化を目指します。

AFCEF-4ビジネスプラン・コンペティションの一次選考を通過したチーム、財務、社会、環境面において有望なビジネスプランを作成するための個別指導を受けます。この個別指導の後に最終選考チームが決定され、シンガポールでのフォーラムで資金調達の要となるビジネスプランを投資家向けに発表する機会を得ます。よりクリーンでグリーンなプロジェクトに関心を持つ投資家、産業スペシャリスト、企業経営者から構成される審査員によってCTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワードを表彰される最優秀案件が選定されます。

以上の過程を経て、事業開発者と投資家とのマッチングを促進することがAFCEF-4の狙いです。事業構想をさらに進化させ、本フォーラムを事業実現のための有効な機会としてご活用ください。

## 2. コンペティション・ガイドライン

### 資格要件

アジア地域に拠点を置く、もしくは積極的に活動を実施し、登記している個人や企業等。外国籍の個人や企業等によるアジア地域における事業案件も対象となりますが、参加する代表者はアジア地域に拠点を置いているものとします。

### 事業の対象分野・技術

対象事業・プロジェクトは地球温暖化対策に資する技術や製品、サービスを提供するものとし、例として以下の分野が挙げられます。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ▪ 再生可能エネルギー利用   | ▪ 森林保全・植林            |
| ▪ バイオマス / バイオガス | ▪ 農村電化               |
| ▪ バイオ燃料         | ▪ 発電                 |
| ▪ 太陽光           | ▪ エネルギー効率向上          |
| ▪ 風力            | ▪ 省エネルギー             |
| ▪ 地熱            | ▪ 廃棄物からのエネルギー生成 / 回収 |
| ▪ 水力            | ▪ 排出量削減              |
| ▪ 潮力 / 波力（海洋発電） | ▪ クリーン輸送             |

適応関連プロジェクトも対象案件とします。適応関連プロジェクトは、現在・将来の気候変動・関連リスクの影響に対する人間及び自然システムの脆弱性を、適応能力・回復力の強化・維持を以て減少させることを目的に、特定の地域・国で実施するプロジェクトです。

- |                            |
|----------------------------|
| ▪ 農業（農業関連産業及び農産物加工）        |
| ▪ マイクロファイナンス及びマイクロインシュアランス |
| ▪ 水と衛生                     |
| ▪ 適応技術関連の製品及びサービス          |
| ▪ 都市開発                     |
| ▪ エネルギー及びエネルギーアクセス         |
| ▪ 観光事業                     |

適応関連プロジェクトの情報については、次のURLをご参照ください。

[http://www.cti-pfan.net/events\\_detail.php?eventsid=52](http://www.cti-pfan.net/events_detail.php?eventsid=52)（英語のみ）

### 事業規模

原則として、（初期）投資が100万米ドル以上（又は相当する他通貨額）の事業案件とします。

## 事業内容

例として以下のような事業を募集しますが、これらに限定されません。

- ・ グリーンフィールド及びブラウンフィールドにおける公共施設プロジェクトと分散型発電プロジェクト
- ・ 新規ビジネス/ベンチャー
- ・ 川下(下流)事業:既存のクリーンテクノロジーの展開
- ・ 川上(上流)事業の開発:新クリーンテクノロジーの開発と商業化
- ・ 既存のクリーンエネルギー/テクノロジー事業に価値を付加する合併、買収、ジョイント・ベンチャー

事業提案にはプロジェクトが商業的及び技術的に実行可能であることが明示されるものとします。

また、事業提案は、本ガイドライン内の「3. 選考基準」を参考にして構成することを推奨します。

## 機密情報と守秘義務

実施機関は参加者の事業コンセプト及びビジネスプランについてその機密性を尊重し、それらをコンペティションで使用以外の目的で複製することはありません。審査員においても提出資料の守秘義務を認識し、同等の配慮が求められます。

参加チームにおいては、それが法的拘束力を有する合意ではないことを前提として、提出物の表紙に下記の免責条項を記載できます。

*“This business plan is confidential and is presented solely for the purpose of evaluation in the CTI PFAN Asia Forum for Clean Energy Financing (AFCEF-4) Business Plan Competition. This plan may not be reproduced or redistributed in whole or in part. By accepting a copy of this plan, the recipient agrees not to reproduce or disclose the contents of this plan to third parties without the prior written consent of its authors.”*

(本ビジネスプランは機密書類であり、CTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム(AFCEF-4)ビジネスプラン・コンペティションにおける評価目的のためにのみ提示される。本ビジネスプランの全体若しくは一部を複製、再配布してはならない。本ビジネスプランの受領者は、作成者の事前の書面による同意なく内容を複製又は第三者に開示しないことに合意する。)

当フォーラム、ビジネスプラン・コンペティションの参加予定者がアドバイザー、主催者及び/又は審査員に守秘義務契約への署名を求めた場合、主催者はこうした依頼について理解をしますが、慣例及び実用性の観点から、AFCEF-4の一環として署名することはありません。

## 参加申込みと必要書類の提出

全ての提出物は電子媒体とします。個々のファイルサイズは容易に送受信できるよう配慮し、情報セキュリティと真正性のため、可能であれば提案書類はPDF形式、財務モデル・事業データシートはエクセル形式で提出するものとします。

必要書類:

- ・ Application Form 参加申請書(PDFファイル)
- ・ Project Proposal 事業提案書(PDFファイル)
- ・ Project Data Sheet 事業データシート(エクセルシート)

### 3. 選考基準

#### 第一次選考: 事業提案書の提出

全応募者の中からCTI PFANが設定する下記の審査基準に基づき、約20案件が選考され事業開発、ビジネスプランの構成、デザインやプレゼンテーションに関する助言、指導を無償で受けることができます。

NO.	審査基準	配点
1	<b>価値提案とビジネスモデル:</b> - ビジネスプランの主目的、事業の合理性が明確に説明されているか - 投資提案が明確に説明されているか - 商業化と収益化が可能か - ビジネス/プロジェクトモデルが明確になっているか - 投資家にとって魅力的な提案となっているか	15%
2	<b>市場理解及び分析:</b> - 市場について十分な分析、考察がなされているか - 市場規模、傾向、障害や見通しなどについての分析と知識 - 競争戦略や事業の強み、弱み分析	10%
3	<b>経営・運営チーム:</b> - 関連した経験や実績を有しているか - チームに事業化を進める能力があるか - 運営能力の潜在的な不足への対処法を用意しているか	10%
4	<b>運営・実施計画:</b> - バリューチェーン(価値連鎖構造)が構築されているか - 出と入に関するロジスティックスが明確か - インプットから最終的な製品およびサービス提供までに必要な活動についての分析がなされているか	10%
5	<b>財務:</b> - 資本支出、収益、経費の概観 - 仮定に対する説明 - 資金調達構造案 - 財務見通しとシナリオ分析 - 出口戦略 - 財務予測は、ビジネスプラン草案に記された予測を正確に反映しているか	15%
6	<b>リスク緩和戦略:</b> - 主要なリスクと適切な緩和策が講じられているか	10%
7	<b>環境や開発に対する利点:</b> - 温室効果ガス(GHG)排出削減 - その他の環境面、開発面における利点(雇用機会創出、健康促進、等)	10%
8	<b>プロジェクトの成熟度:</b> - プロジェクトの成熟度合いと事業化までに要する時間 - これまでの成果	5%
9	<b>拡張/複製可能性:</b> - ビジネスモデルは拡張性があるか、また本業の成長や、複製の可能性を示しているか	5%
10	<b>技術、製品、サービスの革新性</b>	5%
11	<b>プロフェッショナル性とプレゼンテーション:</b> - 文書の構成とアピール性 - 読みやすさ、理解しやすさ	5%
計		100%

第一次選考では事業提案書の完成度ではなく、事業の成功の可能性が重視されます。技術的に実現可能ではあるが、事業の方向性が確立されていない案件を特定することに関心が向けられます。またプロフェッショナル性においては劣るが、十分な支援を得られれば将来性があると思われるビジネスプランについても同様です。同様の観点から、技術開発され成熟したプロジェクトは、開発されていない構想や案よりも優先して選考されます。



## 第二次選考:ビジネスプラン草案

第一次選考通過案件は事業開発と資金調達能力向上を目的としたワークショップに参加し、また、アドバイザーによる助言、指導のもとビジネスプランを更に発展させます。指導内容はフォーラムでの発表を想定し、各事業案件に求められる具体的要件に焦点をあて考案されます。

各チームは、指導期間中、ワークショップ後にビジネスプラン草案を提出します。また、担当アドバイザーは指導経過を基に各プロジェクトがフォーラムでの発表がふさわしいか否かについての推薦を行います。ビジネスプラン草案の評価及びアドバイザーの推薦を基に、最終選考案件と準選考案件を決定します。投資家、審査員向けにフォーラムでプレゼンテーションを行う発表権は、最終選考案件にのみ付与されます。準選考案件はビジネスプランの更なる発展に向け継続的に個別指導を受け、フォーラムでのポスターセッションにて紹介されることになります。

第二次選考のための審査基準は以下のとおりです。

NO.	審査基準	配点
1	価値提案及びビジネスプラン	10%
2	ビジネスプラン実行のための準備状況	10%
3	市場分析及び競争優位性	10%
4	管理スキル	15%
5	技術上、運営上の実現可能性	15%
6	経済面での利点	15%
7	リスク緩和戦略	15%
8	総体的評価	10%
計		100%

本審査段階においては下記項目を満たしているかを考慮しつつ、ビジネスプランを最終的に評価します。

- ・ 準備状況
- ・ 経済面での利点
- ・ 高い需要が見込める市場の特定
- ・ 競争優位性
- ・ 経営陣の姿勢及び/又は必要事項の明確な認識
- ・ 健全な投資構造と投資家のための潜在的出口戦略
- ・ 付随するリスク、脅威及び機会についての十分な考慮

## 最終選考:フォーラムでのビジネスプラン発表

フォーラムでは、最多10件の最終選考チームが投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行います。審査は下記の基準に基づいて行われ、受賞者を決定します。それぞれの基準を10段階で評価し、統計します。

NO.	審査基準
1	市場の明確化及び知識
2	製品またはサービスの明確化 - 価値提案 - 革新性と知的財産
3	収益創出戦略、成長戦略の信頼性
4	経営陣に対する信頼性及び実行計画(マーケティング計画と運営戦略)の達成可能性
5	財務予測の信頼性 - 資産支出と仮定の信頼性 - 収益計画達成の可能性 - シナリオ分析の現実性
6	競争優位性の識別、実行及び保護 - 主要リスクと機会の識別 - 知財の保護 - 競争環境に関する認識
7	リスク緩和策の妥当性と有効性
8	事業/プロジェクト成功のための重要要素へのフォーカス
9	環境や開発に対する利点等
10	投資家のための出口戦略の明確化とその可能性

事前審査と準備のため審査員にはフォーラムの数日前にビジネスプランが配布されますが、当日の審査では主にプレゼンテーションとその直接的インパクトに重点が置かれます。各々のプレゼンテーション後、審査員による質疑応答が続きます。



## 4. スケジュール

コンペティションのスケジュールは下記のとおりです。

ステージ	提出物	提出期限
1. 事業提案書の提出及び 第一次選考	参加申請書、事業提案書、事業データシート	2013年9月9日(月)
	1週間後に第一次選考結果通知	
2. 個別指導、 事業開発ワークショップでの ビジネスプランプレゼンテーション 及び第二次選考	事業開発ワークショップ用プレゼンテーション資料	2013年10月28日(月)
	第一次ビジネスプラン草案	2013年12月5日(木)
	2週間後に第二次選考結果通知	
	2週間以内に評価・コメント提供	
	第二次ビジネスプラン草案、事業概要書、 事業データシート	2014年1月9日(木)
	1週間以内に評価・コメント提供	
	フォーラム用プレゼンテーション資料の草稿	2014年1月23日(木)
	3. ファイナンス・フォーラム	最終版ビジネスプラン草案、事業概要書、 事業データシート
フォーラム用最終版プレゼンテーション資料		2014年2月28日(金)
フォーラムにてアワード受賞者発表		

### 第一段階: 事業提案書の提出及び第一次選考

参加申請書、事業提案書、エクセル事業データシートは2013年9月9日(月)24時(日本時間)までに [afcef-4@cti-pfan.net](mailto:afcef-4@cti-pfan.net) 宛てに提出してください。参加申請書、事業提案書、事業データシート(英語版)のテンプレートは以下のサイトからダウンロードが可能です。

[http://www.cti-pfan.net/events\\_detail.php?eventsid=57](http://www.cti-pfan.net/events_detail.php?eventsid=57)

提案書作成のためのガイドライン(日本語版)は、以下よりダウンロードが可能です。

<http://www.icett.or.jp/cti/index.html>

一次選考通過チームに対しては2013年9月19日(木)までに通知します。通知直後から関係実施機関は、選考通過者に担当アドバイザーを割り当て次段階に向けて準備に入ります。

## 第二段階: 個別指導、事業開発ワークショップでのビジネスプランプレゼンテーション及び第二次選考

本段階では投資家に提示可能なビジネスプランを作成するために、CTI PFANの担当アドバイザーが一次選考通過チームに個別指導を実施します。個別指導は無償で最長4日間(32時間)提供されます。更に、2013年10月30日(水)に開催される事業開発ワークショップでは、一次選考を通過した全チームが専門的な指導と知見を享受できます。また、本ワークショップでビジネスプラン作成のためのガイドラインが配布されます。

一次選考通過チームは2013年12月5日(木)17時(日本時間)までに第一次ビジネスプラン草案を提出するものとします。提出されたビジネスプラン草案とCTI PFAN AFCEF-4コーディネーターの推奨により、最多10チームまでの二次選考通過チームが選ばれ、2013年12月19日(木)に発表されます。また、二次選考への提出者全チームに、今後の参考として、CTI PFAN AFCEF-4コーディネーターによる評価・コメントが提供されます。二次選考通過チームは、シンガポールで開催される最終段階であるフォーラムで投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行います。選考チームはフォーラム当日までの間、継続して個別指導を受けることができます。

最終選考チームは2014年1月9日(木)17時(日本時間)までに第二次ビジネスプラン草案、2-3ページ程度の事業概要書並びに事業データシートを提出するものとします。CTI PFAN AFCEF-4コーディネーターによるレビューが行われ、それに基づき、2014年1月20日(月)までに評価・コメントが提供されます。

最終版ビジネスプラン、事業概要書、事業データシートの提出期限は2014年2月10日(月)です。これらの提出物は2014年2月14日(金)に審査員に送付されます。

## 第三段階: フォーラム

2014年2月26日(水)から28日(金)にシンガポールで開催されるフォーラムの詳細スケジュールは以下のとおりです。

### 26日: 準備ワークショップ

ワークショップはCTI PFAN担当アドバイザーと投資エキスパートによる指導で実施され、28日(金)の本番を想定した模擬プレゼンテーションを行う機会を与えます。最終選考チームは最終版のプレゼンテーション資料を完成させます。

### 28日: ファイナンスフォーラム

最終選考チームは投資家向けに15分以内のプレゼンテーションを行います。このプレゼンテーションは当該事業に関心を持つ投資家並びにCTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワード受賞者を選考する審査員向けに行われます。審査結果は同日夕刻に発表され、フォーラム後のレセプションにおいてアワードが授与されます。

ファイナンスフォーラムに参加する全チームがこのレセプションに招かれ、投資家と非公式に交流を深めることができます。

注) 事業開発ワークショップ及びファイナンスフォーラムへの参加に際し、1チームにつき、1名分の交通費(アジア地域内の発着に限る)、宿泊費および参加費用は主催者が負担します。

## 5. アドバイザー

### 一次選考通過の全チームに対する支援:

- ・ 最長4日(32時間)分、又は関係実施機関と担当アドバイザー間で協議された金額分の個別指導を行います。
- ・ 個別指導は、CTI PFANネットワーク(参照:[www.cti-pfan.net](http://www.cti-pfan.net))に参画する産業エキスパート、コンサルタント、アドバイザーにより実施されます。担当するアドバイザーはクリーンエネルギー市場において国際的にもアジア地域でも豊富な経験を有しています。
- ・ 個別指導は電子メールや電話会議によって実施しますが、コンペティションの第二、第三段階における直接面談を行うための資金も用意されています。更に、ワークショップではグループ指導も提供されます。

## 6. 審査員

審査員はアジア地域の事業環境に精通した投資家等によって構成されます。適格性と客観性確保のため、また利害の衝突を回避するため、審査員はビジネスプラン・コンペティション参加プロジェクトの選考終了後に指名、発表されます。

## 7. 表彰

CTI PFANアジア・クリーン・エネルギー・ファイナンシング・アワードは審査基準に最も適した事業3案件に授与されます。フォーラムに参加した全チームは、ビジネスプランの発信と資金確保に向け継続して支援を受けるため、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインに導入するべく検討されます。表彰された3案件については、最終段階に向けたビジネスプランの改善、投資家への紹介、または商談促進などの更なる集中個別指導が与えられ、またCTI PFAN又はスポンサーや協力機関が催すフォーラムやイベントにおいて優先的に紹介されます。

## 8. よくある質問

### 1. AFCEF-4ビジネスプラン・コンペティションはどのような形態で開催されるのですか。

- ・ AFCEF-4ビジネスプラン・コンペティションは、気候変動防止技術イニシアティブ(CTI)、CTI 民間資金調達支援ネットワーク(CTI PFAN)、米国国際開発庁(USAID)、公益財団法人 国際環境技術移転センター(ICETT)がスポンサーとなり開催されます。
- ・ 同フォーラムは、Dawn Consulting、CleanEnergy Solutions International (CSI)、PPL International、シンガポール持続可能エネルギー協会 (SEAS)、Impact Investment Exchange Asia (IIX)の協力のもと開催されます。
- ・ 事業概要書、ビジネスプラン、その他提出物の評価はCTI PFANネットワークのメンバーとアジア域内外の産業界からの選出者によって行われます。これらの個人の多くはコンペティションに参加するチームの個別指導にあたります。CTI/ICETTは各段階における最終選考チームに対して、評価チームの推奨に基づき最終承認を与えます。
- ・ 5名程の審査員はフォーラムで各チームのプレゼンテーションを聞き、CTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワード受賞者を決定します。

### 2. 事業提案書作成のための日本語のガイドラインはありますか。

はい。<http://www.icett.or.jp/cti/index.html> よりダウンロードが可能です。

### 3. 個別指導サービスはどのように手配されるのでしょうか。

実施関係機関が参加チームの必要要件を考慮した上で、適切なアドバイザーを各チームに割り当てます。指導料は実施関係機関が負担します。

### 4. 諸費用及び旅費の負担について教えてください。

- ・ AFCEF-4への応募、参加のための準備、それに伴う成果物の提出や通信に関わる費用は、全てチームの負担とします。
- ・ 個別指導を行うにあたり、事前合意されている第三者費用は上記3の説明にある通りです。
- ・ 実施関係機関は、事業開発ワークショップおよびフォーラムに参加するチームメンバー1名分の交通費（アジア地域内の発着に限る）、宿泊費および参加費を負担します。

### 5. ビジネスプラン・コンペティションに参加することのメリットについて教えてください。

- ・ 一次選考通過チームは担当アドバイザーの指導を受けることにより、ビジネスプランの質を高め、投資家向けのプレゼンテーションに備えることができます。
- ・ 個別指導にあたる者は、特に関連市場、ビジネスプランの準備や資金調達において豊富な知見を有しています。全ての参加者は彼らの徹底した指導、情報、知見を無償で享受でき、ビジネスプランとプレゼンテーションスキルの向上につなげることができます。
- ・ フォーラムにはアジアのクリーンエネルギー分野で活躍する投資家が集います。投資家とのネットワーキングの場が準備され、事業開発者は投融資を受ける機会を得ます。プレゼンテーションの結果、実施関係機関が継続討議を必要に応じて進めていきます。
- ・ ビジネスプラン・コンペティションに提出された全てのビジネスプランについて、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインへの導入が考慮されます。導入された事業は事業開発とビジネスプランのプレゼンテーションに対する支援及び助言を継続して受け、更にCTI PFANの投資家ネットワークに紹介されることとなります。

6. プレゼンテーションにおいて、補足のためにPowerPoint以外の媒体を使用しても良いでしょうか。

第二次選考においてはビジネスプランの内容を補足するためビデオなど他の手段を使用することもできます。しかし、シンガポールでの審査員向け最終プレゼンテーションで各チームに割り当てられた時間は限られており、審査においてはビジネスプランの信頼性をどれだけ審査員に納得させたかという観点から評価が行われます。このため、プレゼンテーションのフォーマットや時間には細心の注意を払い、補足資料として、必要枚数以上のPowerPointスライド(又は他の媒体)は使用しないようにしてください。

## 9. 実施関係機関

今回、共催した機関の概要は以下のとおりです。

### 気候変動防止技術イニシアティブ (Climate Technology Initiative, CTI):

気候・環境にやさしい技術と実践のより急速な発展と普及を推進する、多国間による国際連携イニシアティブです。2003年にはIEAの実施協定として位置づけられました。CTIの意思決定は、加盟国代表メンバーで構成される執行委員会 (CTI Executive Committee) において行われ、現在の加盟国はオーストラリア、オーストリア、カナダ、フィンランド、ドイツ、日本、ノルウェー、韓国、スウェーデン、英国、米国の11ヶ国です。また、国際事務局は(公財)国際環境技術移転センターに委任されています。 [www.climatetech.net](http://www.climatetech.net)

### CTI 民間資金調達支援ネットワーク (Climate Technology Initiative Private Financing Advisory Network, CTI PFAN):

実効性の高い取組みとして期待されるCTI PFANプログラムは、UNFCCCの技術移転専門家グループ(EGTT)との協力の下CTIにより設立された官民パートナーシップです。クリーンエネルギー/再生可能エネルギー/エネルギー利用効率化プロジェクトに携わる事業開発者及び起業家による資金調達機会を拡げ、開発途上国及び経済移行国への技術移転を促進します。CTI PFANネットワークは民間金融機関・プロジェクトファイナンス専門家・非営利組織・多国間組織・政府組織から構成されており、プロジェクトに早い段階から専門的なアドバイス、指導を提供し、民間直接投融資の確保を支援します。 [www.cti-pfan.net](http://www.cti-pfan.net)

### 米国国際開発庁 (United States Agency for International Development, USAID):

アメリカ合衆国のほぼすべての海外援助を行う政府組織で長期且つ公正な経済成長の促進を目指しています。持続可能なエネルギー・イニシアティブ、保健衛生、民主化、紛争解決、人道支援などに焦点をあてた経済成長、農業開発、貿易振興を援助の柱としています。USAIDはワシントンDCにある経済成長・教育・環境局 (Bureau for Economic Growth, Education, and the Environment: E3) とタイ・バンコクに拠点を置くアジア地域開発ミッション (Regional Development Mission for Asia: RDMA) を通じてCTI PFANを支援しています。RDMAはアジア地域におけるCTI PFANのコーディネーターです。 [www.usaid.gov](http://www.usaid.gov)

### 公益財団法人 国際環境技術移転センター (International Center for Environmental Technology Transfer, ICETT):

1990年に我が国の環境保全システムを円滑に移転していく機関として産・官・学の協力によって三重県四日市市に設立されました。環境関連技術及び環境保全策等を開発途上国に移転することを目的とします。そのために、研修・技術指導、調査・研究、交流・連携、情報提供・普及啓発などの取り組みを行っています。ICETTには2003年からCTIの国際事務局が設置されCTI PFANの組織運営に必要とされる支援業務も遂行しています。本フォーラムは経済産業省の支援によりICETTが実施している「地球環境国際研究推進事業」の一環として開催されます。 [www.icett.or.jp](http://www.icett.or.jp)

### アジア開発銀行 (Asian Development Bank, ADB) – Energy for All (E4A) プログラム:

アジア太平洋地域の拡大するエネルギー不足への対策として立ち上げられたE4Aプログラムは、2015年までに100万人以上に近代的なエネルギーへのアクセスを提供することを目標としています。活動は、ADB稼働地域でのエネルギーアクセスの主流化、それ以外のアジア太平洋地域の民間投融資の促進によるエネルギーアクセス関連企業の横展開・拡大を2本柱としています。

[www.adb.org/sectors/energy/programs/energy-for-all-initiative](http://www.adb.org/sectors/energy/programs/energy-for-all-initiative); [www.energyforall.info](http://www.energyforall.info)

### Impact Investment Exchange Asia (IIX):

アジア太平洋地域に活気に満ちた社会資本の市場を作ることを目的とした社会的企業です。社会的責任投資を促進するために、企業の成長段階に合わせた「Impact Incubator」と「Impact Partners」の二つのプラットフォームを運営し、また現在第三のプラットフォームである「Impact Exchange」も開発しています。これらのプラットフォームは、世界での活躍を目指すアジアの社会的企業に投資家とつながる機会を与えます。IIXはまた、アジア太平洋地域での社会的責任投資促進のための金融商品やエコシステムの開発に取り組んでいます。 [www.asiaii.com](http://www.asiaii.com)



**Dawn Consulting:**

独立系の企業財務コンサルティング専門会社で、ベンチャーキャピタル、プライベートエクイティ、プロジェクト資金調達、運転資金調達、海外直接投資、対外商業借入(ECB)、デューデリジェンス、トランザクションストラクチャリング、指導・育成及び企業戦略コンサルティングを対象としています。同社は、専門的な知識を介して、企業が抱える財務的課題の解決に協力しています。また、内在する顧客ニーズとビジネスの経済基盤に焦点を当てることにより、企業が戦略上の仮定を再考し、財務レバレッジの最適化を支援します。同社は鍵となる成長・強化のために負債資本比率の最適化を可能とし、キャパシティビルディングに投資して、新たな市場への参入とプロダクトミックスの再定義に必要な追加のリソースを入手できる構造を提案します。過去6年間に、インドとアフリカにおける再生可能エネルギーおよび省エネルギープロジェクトの指導をしてきました。さらに、過去12年間にわたり、製造、エンジニアリング、不動産、ファイナンシャルサービス、インフラ、鉱業、及びIT、宿泊飲食業などのサービス業等、様々な産業においてインド全土および海外の企業にサービスを提供しています。[www.consultdawn.com](http://www.consultdawn.com)

**CleanEnergy Solutions International (CSI):**

市場分析・事業開発・財務のまとめ・資金調達の円滑化に特化したコンサルティング会社で、これまでにフィリピン、インドネシア、インド、タイ、その他のアジア諸国で再生可能エネルギー・エネルギー効率・クリーン輸送・その他環境分野に関連するプロジェクトを実施しました。また、CSIはフィリピンのCTI PFANカントリー・コーディネーターです。[www.cleanenergy.com.ph](http://www.cleanenergy.com.ph)

**PPL International:**

CTI PFANのグローバル・コーディネーターであり、発展途上国でのクリーン/再生可能エネルギープロジェクトに特化した資金調達に関するアドバイザーです。アフリカ、アジア、独立国家共同体(CIS)及び東欧で活動しています。[www.ppl-int.com](http://www.ppl-int.com)

**シンガポール持続可能エネルギー協会 (Sustainable Energy Association of Singapore, SEAS):**

再生可能エネルギー、エネルギー効率及び炭素開発・取引事業に取り組む企業や金融機関が協力して、有益なプロジェクトを共に実施していくための利害を代表し、共通の基盤を提供しています。本協会は業務の中心を、能力構築、技術強化、市況情報まで広げ、企業と市場の発展及び学習・訓練基盤を介して、メンバーが当該地域で持続可能な成長を実現する手助けをしています。SEASは、製品とソリューションの開発・輸出をするグローバル・クリーン・エネルギー拠点になるというシンガポールのビジョンの実現化の支援において、戦略的な役割を担っています。また、SEASはメンバーのプロジェクト実施を可能にするために地域のクリーン・エネルギー業界団体、多国籍企業、若しくは主要政府機関と戦略的な協力関係を構築しています。[www.seas.org.sg](http://www.seas.org.sg)



# AFCEF-4 Application Form



I /We, hereby indicate our interest to participate in the CTI PFAN Asia Forum for Clean Energy Financing (AFCEF-4) Business Plan Competition. In submitting this application we acknowledge the general terms and conditions of the Business Plan Competition as outlined in the guidelines.

Team / Company Name: \_\_\_\_\_

Project Name: \_\_\_\_\_

Brief Project Description including Location (max. 50 words):

\_\_\_\_\_

Country where Project is Located: \_\_\_\_\_

Signed on behalf of the Team / Company

Signature: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Name (Print): \_\_\_\_\_

Title (Print): \_\_\_\_\_

For more information about the competition details, please contact:

[afcef-4@cti-pfan.net](mailto:afcef-4@cti-pfan.net)